

令和3年度
教育課程特例校における特別な教育課程
【実施状況報告】

箕面市立止々呂美中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・小学校1年生からALTを活用した授業で、ネイティブの英語に触れて活動することで、英語に対して親しみをもって臨んでいる。
- ・学年があがるにつれて英語で表現できることも増えて、英語の興味や関心が高まっているようである。英語コミュニケーションの授業を通して子どもたちが英語を楽しんでいる。
- ・先生方も音楽や映像を使って、子どもたちが英語を楽しめるような授業をしている。
- ・ALTが自分の生まれ育った国の歴史や文化を話してくれることで子どもたちが外国についての興味を持てるようになっている。
- ・タブレットを用いた英語学習にも取り組んでいる。

3.今後に向けて

- ・小学校の英語はふだんの授業でのALTとの活動やイングリッシュタウンなどを通して、英語に親しむことを重視して取り組んでいる。中学に入り学ぶ内容が高度になった際でも、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを子どもたちに実感させていく工夫が必要である。
- ・英語で伝え合うことの成果を、校外学習など学校以外の場で外国人と話してみるなどの体験をさせることによって、英語が使えることの自信と喜びを実感させていきたい。